

しおんだより VOL.66



新しいメンバーが仲間に加わってくれました！

人は城、人は石垣、人は堀…。これは、戦国時代の武将、武田信玄の言葉だそうです。今も昔も、みんなで力をあわせてものごとに取り組むわけですが、人の重要性は変わらないということですね。

新年度初日の4月1日には、新しく加わったスタッフに全体朝礼でご挨拶いただきました。これから、ご一緒にがんばりましょう！

当院も、運営母体が変わってから10年以上が経過し、中身も雰囲気も大きく様変わりしてきました。前号でもお伝えしましたが、InstagramやTiktokで院内のご紹介をしていることもあってか、最近では、当院のあり方や方向性を理解して頂いた上で、ご入職いただける方が増えていることを実感します。

西成のこの地で、地域の方々に安心・安全と思っていただけるように、私たちは何をすれば良いのか、どうあるべきか、そして、どうありたいのかということを、スタッフ全員で意識とベクトルを合わせて取り組んでいきたいと考えています。

当院では、毎朝、各部署で朝礼を行っていますが、月に一回は全部署が集まった全体朝礼を実施しています。今月の全体朝礼では、新しく入職して頂いたスタッフの皆さんにも、自己紹介をしていただきました。

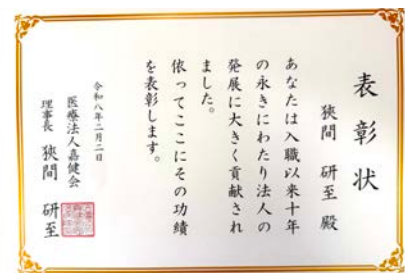
先ほどの武田信玄の言葉には「情けは味方、仇は的なり」という続きがあります。みなで仲良く、力を合わせて、がんばっていきたいと思います。

自分で自分を褒めることになりました

自分で自分を褒めたい…。このフレーズを聴いて懐かしくなるのは、まちがいなく昭和世代の人ですね。1996年のアトランタ五輪で、日本の女子マラソンのエース、有森裕子さんが銅メダルを獲得したときの言葉ですから、もう30年も前のことです。

1996年と言えば、私は研修医2年目の時。何も上手にできなくて、自分で自分を褒める余裕はなく、研修で出向していた、大阪府立病院（現 大阪急性期・総合医療センター）をかけずり回っていましたので、とても褒めたくなるような状況ではなかったです。

ただ、今回は、この病院に赴任して10年。本当に色々ありましたが、患者さん、地域の方々、そしてスタッフの皆さんのおかげで、なんとか、スタート地点には立てた気がします。今回は素直に自分を褒めておいて、また次のステージに向かいたいと思います。



よく見るとなんだか違和感もある表彰状ですが、全体朝礼の時に、副院長から頂きました。



桜のあとは、ツツジの季節。この三色の花を見かけると、ああ、もうすぐ夏がくるんだなと実感します。

昔は花なんかどうとも思わなかったのに

若い頃は、道ばたで咲いているお花はもとより、きれいに手入れされた植木鉢やプランターの花を見ても、本当になんとも思わず通り過ぎていました。

しかし、この10年ぐらいですから、40も半ばを過ぎた頃からでしょうか。きれいなお花が咲いているのを見ると、文字通り、目を奪われることが多くなってきました。

週末の朝に、自宅の近くをランニングしている時にも、この季節は、沢山のお花に出会います。手入れをされて咲き誇るお花も素敵です。でも、道ばたにそっと咲いているお花もなかなか趣があっていいなと思います。

最近はスマホのカメラが充実していますから、こまめに写真にとって時々眺めて癒やされています。（文責：狭間研至）

しおんだより 第66号 発行日：令和8年4月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: www.shion-hp.or.jp